
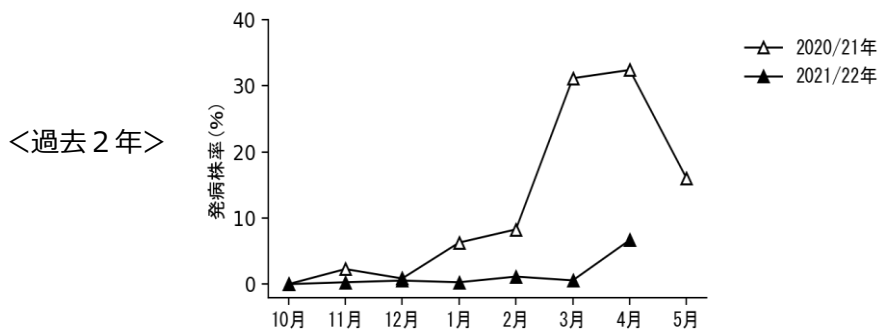
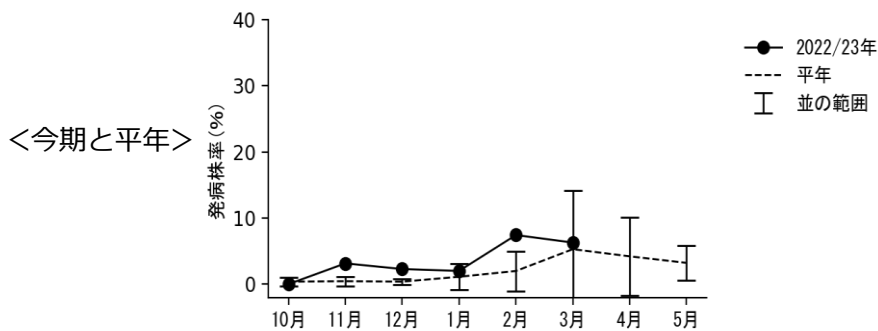


作物	トマト(施設)		地域	沖縄群島
病害虫名	① 黄化葉巻病			
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	並		
予 報	3 月からの増減傾向	↓		
	4 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)		

調査結果


発病株率の推移



・発生施設率85.7% (平年 : 25.8%)

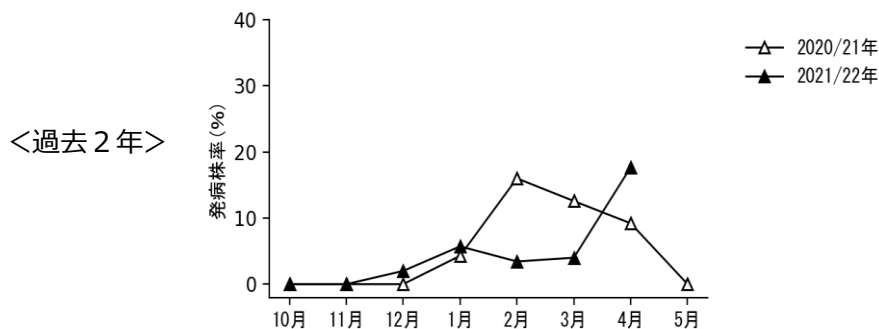
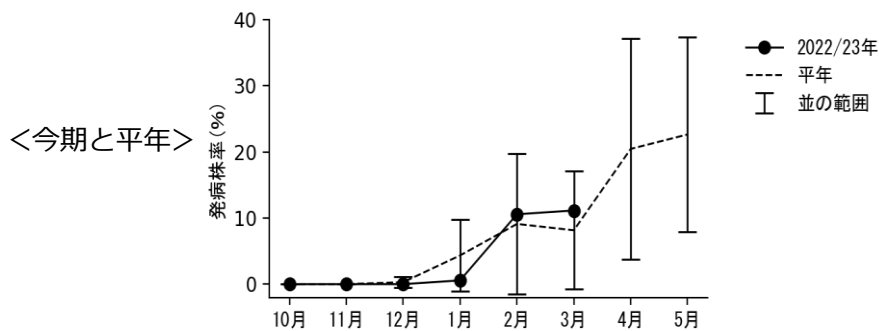
防除のポイント

- ・媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。
- ・感染株や摘葉残さは感染源となるため、施設外に持ち出しビニール袋に入れるなどして密閉処分する。
- ・ムラサキカタバミやノグシ等の雑草は本病に感染し、次期作の伝染源となるため除去する。

作物	トマト(施設)		地域	沖縄群島
病害虫名	② うどんこ病			
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	並		
予報	3 月からの増減傾向	↗		
	4 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠			平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果


発病株率の推移



・発生施設率71.4% (平年 : 34.8%)

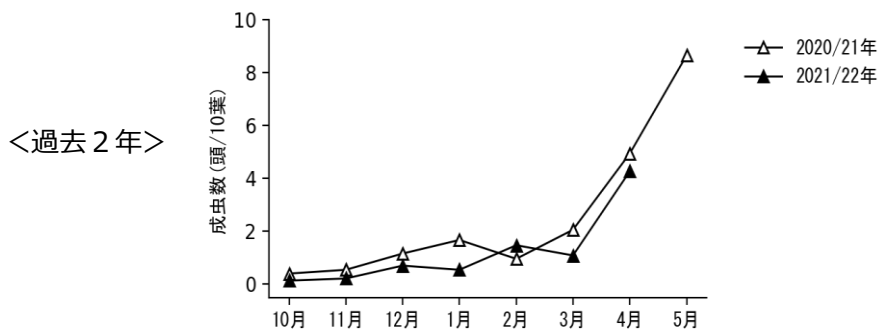
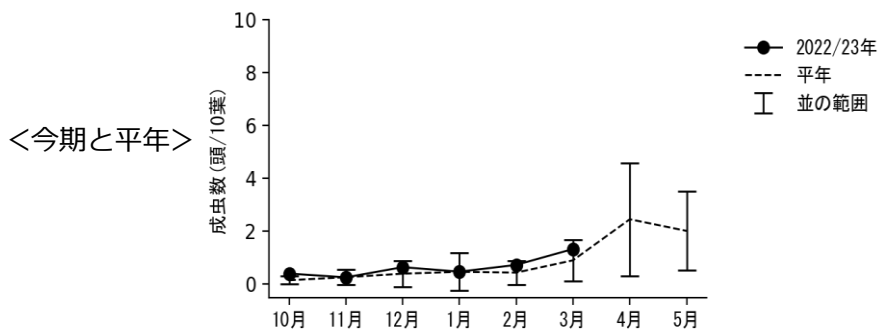
防除のポイント

- ・通風が悪いときに多発しやすいので、老葉を除去し、透光通風を良くする。
- ・多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・多発すると防除が困難となるので、葉をよく観察し早期発見・防除に努める。

作物	トマト(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ タバココナジラミ		 <p>成虫</p>
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	並	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

成虫数の推移




・発生施設率100% (平年 : 51.5%)

防除のポイント

- ・本種はトマト黄化葉巻ウイルスを媒介する。
- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ
- ・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。

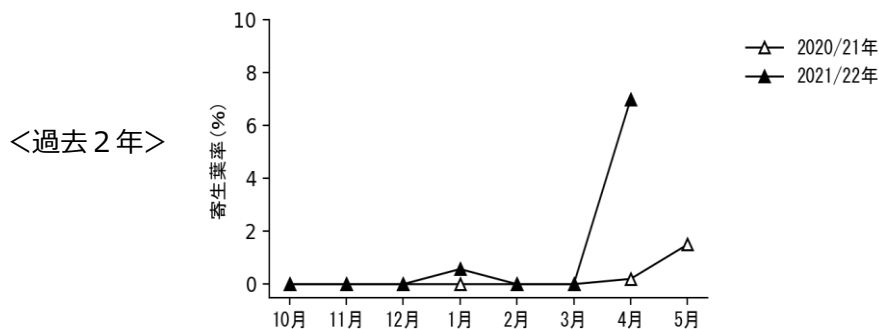
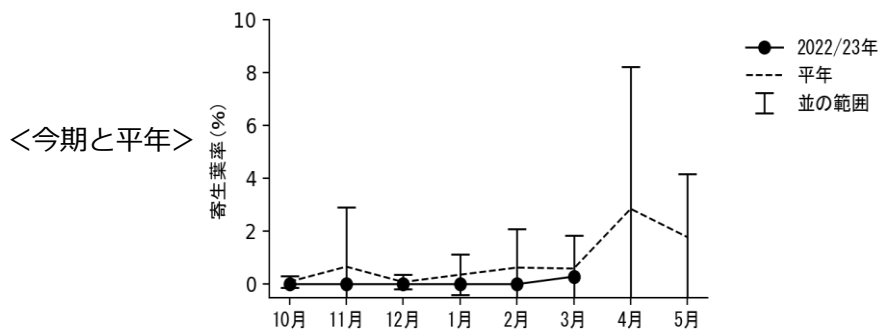


幼虫

作物	トマト(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	ハモグリバエ類		
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	並	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

寄生葉率の推移



・発生施設率14.3% (平年：9.1%)

防除のポイント

- ・摘葉等による残さは成虫の発生源となるので、施設外に持ち出し処分する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・幼虫期間が短いため、葉面に産卵痕や食害痕が見え始めたら防除を開始する。
- ・防除効果は幼虫の体色で判断する。生存時は黄色で死亡すると黒変する。

幼虫の死骸  
(農薬などで死亡すると黒色に変色)

